

健康課  
保医療

健康と福祉を楽しく考える一日に  
笑顔いっぱい！健康福祉まつり

健康と福祉を考える一日として恒例となった「健康福祉まつり」を5月20日、庄原市保健センター！総合体育館周辺を主会場に開催しました。

会場では、健康チェック、歯科相談、福祉機器などの展示、体力チェックや全体の無料体験など、健康福祉まつりならではの体験コーナーが行列ができました。

また、障害者施設や共同作業所など市内で活躍している団体のパネル展示を行い、ステージでは庄原市老人クラブ連合会女性部の「庄原ご長寿音頭」、西城川こども太鼓による演奏、県立広島大学ダンス部のヒップホップ、子どもたちに大人気のバルーンショーなどで盛り上がりました。



子どもに大人気のバルーンショー



健康チェックコーナー

生涯学習課  
生涯学習

市内のたたら製鉄の歴史を知る  
中国地方のたたら製鉄資料展開催

教育委員会は、国営備北丘陵公園内のさとやま展示館で4月7日から5月15日、「中国地方のたたら製鉄資料展」と題し、市内で実際にたたら製鉄に使用された道具類やたたら製鉄によつて作られた鉄製品などの展示を行いました。

この企画展示は、国営備北丘陵公園で毎年行われている「たたら鉄作り体験」と併せて開催したもので、会場では多くの見学者がたたら製鉄の各場面を示す絵図や資料を見学していました。

見学者からは「今では当たり前のようになっている鉄製品だが、昔はたくさんの労力や時間を使ってようやく手に入れることができた貴重なものであるということが分かった」などの感想が聞かれました。



救急車の乗車体験



展示の様子

工課  
商観光

新たなサポート役を加えて事業拡大中  
庄原さとやまオープンガーデン開催

しようばら花会議が主催する「さとやまオープンガーデン」が開催中です。市内各地でさまざまな庭を楽しむことができるこの企画は4月28日からスタートし、5月13日までの6日間で来訪者は延べ4,700人となっています。

今回のオープンガーデンは、前回の開催から8庭増え26庭となりました。

また、公開される庭が増えただけでなく、この取り組みをサポートする人や事業者が大幅に増加し、道の駅やレストラン、ホテル、ショッピングセンターなどがインフォメーションとしてこの取り組みを支援しています。

また、タクシー会社も観光案内役として協力に加わり、観光客にできるだけ市内を周遊してもらえようという仕組みづくりを試みています。

同会議事務局の庄原市観光協会は「さらに多くの皆さんに参加してもらい一緒に盛り上げることで、庄原市の魅力を観光客が実感し感動できる取り組みにつなげていければ」と話しています。

市は「クラスタのまち実現プロジェクト」として、「まち」は「公園」一り



田村庭



貝崎庭



イベント準備で住民と一緒に草刈する佐々木さん(右)

治課  
自振興

2人目の地域おこし協力隊員に  
北海道の佐々木さん  
敷信自治振興区で始動!!

敷信自治振興区で5月1日から地域おこし協力隊員の活動が始まりました。

地域おこし協力隊員として委嘱を受けた北海道出身の佐々木一憲さんは、北海道とは異なる庄原の自然に魅力を感じ応募。平成25年3月31日ま

での任期中、敷信自治振興区内で、農業体験を含めた農業への従事、地域の農産物の生産、販売や特産品開発を中心に、地域おこし活動にかかわっていきます。

市内では高野地域で活動している檀上理恵さんに次いで、2人目の任用となります。